



環境経営レポート

2022年5月 ～ 2023年4月



『一人ひとりの意識改革・新たな創造に挑戦します』

博多金物 株式会社

2023年6月30日 発行

目 次

会社概要	1
組織図	2
環境経営方針	3
認定証・許可一覧	4
施設・設備の内容	5
処理工程図	6
受託した産業廃棄物の実績	7
環境経営目標(2021年度～2023年度)	8
2022年度 環境活動計画と取組結果の評価	9
2022年度 環境目標の実績・取組結果とその評価	10
2023年度 環境目標 ・ 環境活動計画	11
環境関連法規等の遵守結果	12
代表者による全体の評価と見直し結果	13



会 社 概 要

1) 事業者名および代表者名
博多金物 株式会社 代表取締役 **白石 浩一**

2) 所在地 (宮崎県延岡市大武町 INOBECH内)
 本 社 事 務 所 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町39番地71
 リサイクルセンター 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町39番地69
 破 碎 工 場 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町39番地68



本社事務所

破碎工場



3) 環境管理責任者及び事務局及び連絡担当者
 EA-21 責任者 : 専務取締役 **渡邊 亮介**
 EA-21 事務局 : 総務部 **白石 弥生**
 連絡担当者 : **白石弥生**〔 EA-21事務局 〕
 TEL 0982-35-6385
 FAX 0982-35-6387
 E-mail shiraishi@hakatakanamono.jp

4) 創業年月日 昭和33年10月17日

5) エコアクション21認証・登録 認証登録日 2012年11月2日
 認証・登録番号 **0008854** 更新登録日 2022年11月2日
 有効期限 2024年11月1日
 範 囲 全社・全組織・全活動

6) 事業活動の内容

- * 産業廃棄物収集運搬業(特別管理産業廃棄物含む)
- * 産業廃棄物処分業(中間処理業)
- * 金属スクラップ加工処理業
- * 故非鉄金属、故機械、電気器具類の売買業
- * 重量物計量事業、計量器修理事業

7) 事業規模

項目	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
資本金	万円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
売上高	百万円	1,125	930	1,244	2,247	2,043
従業員数	人	17	17	17	17	17
床面積	m ²	3,054	3,054	3,054	3,054	3,054
敷地面積	m ²	9,409	9,409	9,409	9,409	9,409

組 織 図

代表者(社長) 白石 浩一	1 経営資源の準備 2 推進組織の決定 3 環境方針の策定 4 環境目標及び環境活動計画の承認 5 定期的な全体の評価と見直し指示 6 環境活動レポートの承認
----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

EA21責任者 (専務) 渡邊 亮介	1 EA21システムの確立、実施推進、維持管理 2 環境への負荷及び取り組みへの自己チェックの承認 3 システム全体の運用状況を社長へ報告する 4 環境目標及び環境活動計画の策定 5 環境活動レポートの作成 6 EA21に関する実績把握と報告 7 利害関係者からの苦情要望等の処理と連絡 8 環境目標/活動計画結果管理の定期的な評価 9 問題点発生時の是正/予防処置指示と内容承認 10 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 11 教育、訓練計画の策定と実施(緊急時対応訓練含む)
----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

本 社 ・ 工 場

工場部門	
本社ヤード・車輛	破碎ヤード リサイクルヤード
富田 直人	矢野 亨
1 車輛の点検 2 運行記録管理 3 雨水貯蓄管理	1 破碎工場電気使用 法管理 2 重機の点検 3 環境整備・訓練

総務部門/EA21事務局	
白石 弥生	
1 環境活動計画の実施 2 問題点の是正処置 3 環境活動の実施 4 環境文書及び記録の 作成、管理	

環境経営方針

基本理念

博多金物株式会社は、循環型社会の形成と持続可能な発展のために環境の保全に努め、環境にやさしい企業活動により地域に貢献すると同時に、社員の生活が幸福なものになるよう企業活動を行うことを基本理念とする。

基本方針

* 博多金物株式会社は、金属スクラップ及び産業廃棄物の処理事業を行う中で可能な限りのリサイクルに努め、環境保全に貢献する。

* 環境保全活動では、自社の特徴である金属スクラップの加工処理を中心に次の項目に取り組む。

- ① 電気・燃料の消費に伴う二酸化炭素の削減及び節水への意識を持ちつつその使用に対する経営効果の向上を目指す。
- ② 廃棄物の削減及びリサイクルの促進に努める。
- ③ 現場改善を日々行い、効率的かつ環境負荷の少ないプロセスの向上を推進する。

* 受託した産業廃棄物の中間処理では再資源化率の向上に努め、収集運搬では収集運搬車輛のエコドライブを実践し、省エネと排気ガスの抑制に取り組む。

* 環境に関する法令及び法規制を遵守する。

* 環境経営方針は、当社のために働くすべての人にも周知を図り、一般の人々が入手可能なようにする。

* 環境への取り組みについて、環境活動レポートを作成し公表する。



制定日 平成24年4月17日

改訂日 令和2年11月1日

博多金物 株式会社

代表取締役

白石 浩一

認定証・許可一覧

古物商	交付	昭和40年4月8日	登録番号	95111000第3384号
	事業の区分	行商 = する		
計量証明事業	登録	平成元年6月6日	登録番号	第43号 (宮崎県知事)
	事業の区分	質量にかかる計量証明の事業		
計量器修理事業	登録	昭和63年5月31日	登録番号	第152号 (宮崎県知事)
	事業の区分	質量計第四類		
電子マニフェスト加入者番号	処分業 3011811		収集運搬業 2001894	
産業廃棄物 中間処理業	許可日	令和元年8月25日	許可番号	第04528047880号 (宮崎県知事)
	有効期限	令和6年8月24日	事業区分	中間処理業(圧縮・切断、剥離)
	種類	《圧縮・切断》	金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ゴムくず、廃プラスチック類、木くず(5種類)	
		《剥離》	金属くず、廃プラスチック類(2種類)	
産業廃棄物 収集運搬業 (宮崎県)	許可日	令和4年5月30日	許可番号	第04518047880号 (宮崎県知事)
	有効期限	令和9年5月29日	事業範囲	積替え・保管の有無 あり
	積替え保管の上限	①廃プラスチック類、金属くず(廃バッテリーに限る。)9.41㎡ ②金属くず、汚泥(廃乾電池に限る。)0.056㎡ ③ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、金属くず(廃蛍光管に限る。)0.19㎡		
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず、 鋳さい、がれき類、ばいじん(15種類)		
産業廃棄物 収集運搬業 (山口県)	許可日	令和元年9月15日	許可番号	第03500047880号 (山口県知事)
	有効期限	令和6年9月14日	事業範囲	積替え・保管の有無 なし
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず、 鋳さい、がれき類、ばいじん(15種類)		
産業廃棄物 収集運搬業 (北九州市)	許可日	令和5年6月18日	許可番号	第07600047880号 (北九州市長)
	有効期限	令和10年6月17日	事業範囲	積替え・保管の有無 なし
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、鋳さい、がれき類、ダスト類(15種類)		
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業 (宮崎県)	許可日	令和4年5月21日	許可番号	第04568047880号 (宮崎県知事)
	有効期限	令和9年5月20日	事業範囲	積替え・保管の有無 あり
	積替え保管の上限	①廃酸(廃バッテリーに含まれる水素イオン濃度指数2.0以下のもの)9.41㎡ ②廃酸(水素イオン濃度指数2.0以下のもの)0.4㎡ ③廃アルカリ(水素イオン濃度指数12.5以上のもの)0.4㎡		
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ばいじん、廃石綿等(7種類)		
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業 (山口県)	許可日	令和5年3月8日	許可番号	第03550047880号 (山口県知事)
	有効期限	令和10年3月7日	事業範囲	積替え・保管の有無 なし
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ばいじん、廃石綿等(7種類)		
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業 (北九州市)	許可日	令和5年6月18日	許可番号	第07650047880号 (北九州市長)
	有効期限	令和10年6月17日	事業範囲	積替え・保管の有無 なし
	種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ダスト類(6種類)		
第一種フロン類 回収業	登録	令和元年9月4日	登録番号	4570100736 (宮崎県知事)
	事業の区分	第一種フロン類の回収		

施設・設備の内容

中間処理施設・能力

種類	所在地	処理能力ほか	
圧縮・切断施設	延岡市大武町39番地71	20 t / 日	
剥離	延岡市大武町39番地69	3 t / 日	
積替え保管	延岡市大武町39番地69	容器内保管	
	面積	種類	保管上限
産業 廃棄物	8.976 m ²	廃バッテリー	9.41 m ³
	2.8985 m ²	廃乾電池	0.056 m ³
	2.8985 m ²	廃蛍光管	0.19 m ³
特別管理	8.976 m ²	廃酸(廃バッテリーに含まれるもの)	9.41 m ³
産業 廃棄物	3.2725 m ²	廃酸(水素イオン濃度指数2.0以下)	0.4 m ³
	2.5245 m ²	廃アルカリ(水素イオン濃度指数12.5以上)	0.4 m ³



運搬車両

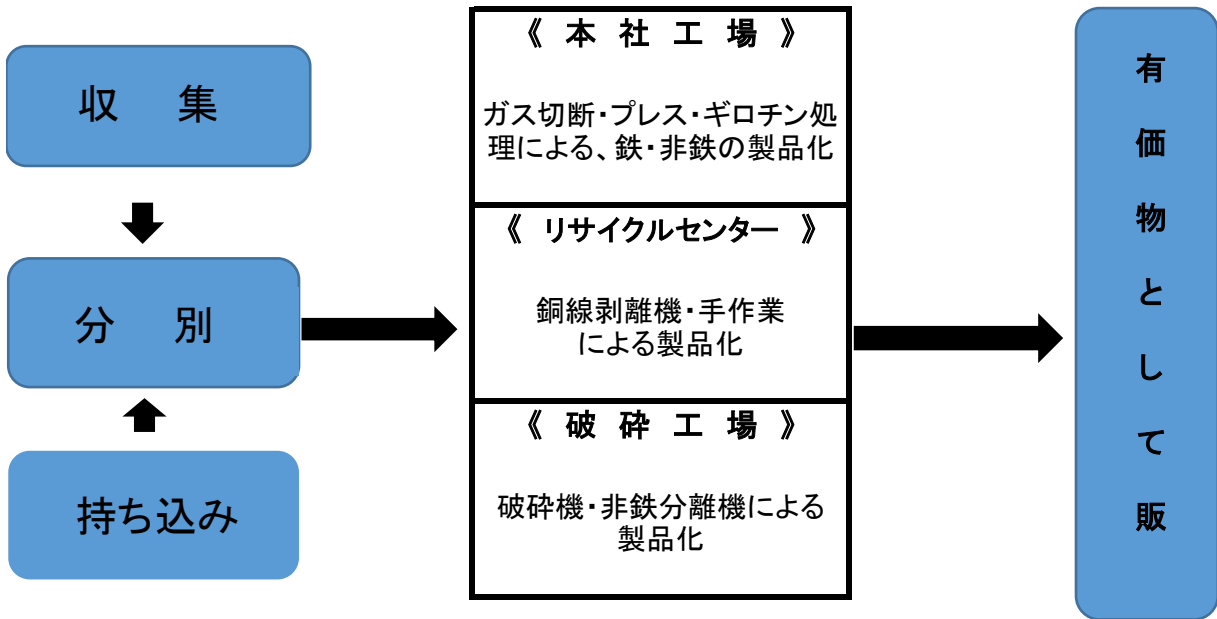
登録番号	トン数	車両名	収集運搬業用
宮崎100は4354	14.4t	キャブオーバ	○
宮崎100せ2032	2.6t	キャブオーバ	○
宮崎100は908	8.7t	キャブオーバ	○
宮崎480と9437	0.35t	キャブオーバ	○
宮崎400せ8478	2.0t	キャブオーバ	○
宮崎100は2246	8.0t	キャブオーバ	○
宮崎100は846	10.1t	ダンプ	○
宮崎100は2001	10.1t	ダンプ	○
宮崎41ね6234	0.35t	バン	○
宮崎100は4635	12t	脱着装置付コンテナ専用車	○
宮崎100す404	3.75t	脱着装置付コンテナ専用車	○
宮崎100す405	3.75t	脱着装置付コンテナ専用車	○

主要設備

本社ヤード	400 t シャープレス	1基	600 t ギロチンシャー	1基
	80 t 電気式計量器	1基	40 t 普通式計量器	1基
	3 t フォークリフト	1基	荷役用グラップルユンボ	1基
	5 t 天井走行クレーン	1基	3 t 天井走行クレーン	1基
	リフティングマグネット	1基		
リサイクルセンター	2.8 t 天井走行クレーン	1基	2 t 天井走行クレーン	1基
	30 t 電気式計量器	1基	2.5 t フォークリフト	1基
	1 t フォークリフト	1基	被覆電線解体機	2基
	2 t グラップルリフト	1基		
破碎工場	600型シュレッダー	1基	非鉄選別機	1基
	7.8 t テルハ	1基	1 m ³ ホイルローダー	1基
	0.7 t 解体用ユンボ	1基	0.3 t 解体荷役用ユンボ	1基
	荷役用スクラップハンドラー	1基	リフティングマグネット	1基
	3 t フォークリフト	1基		

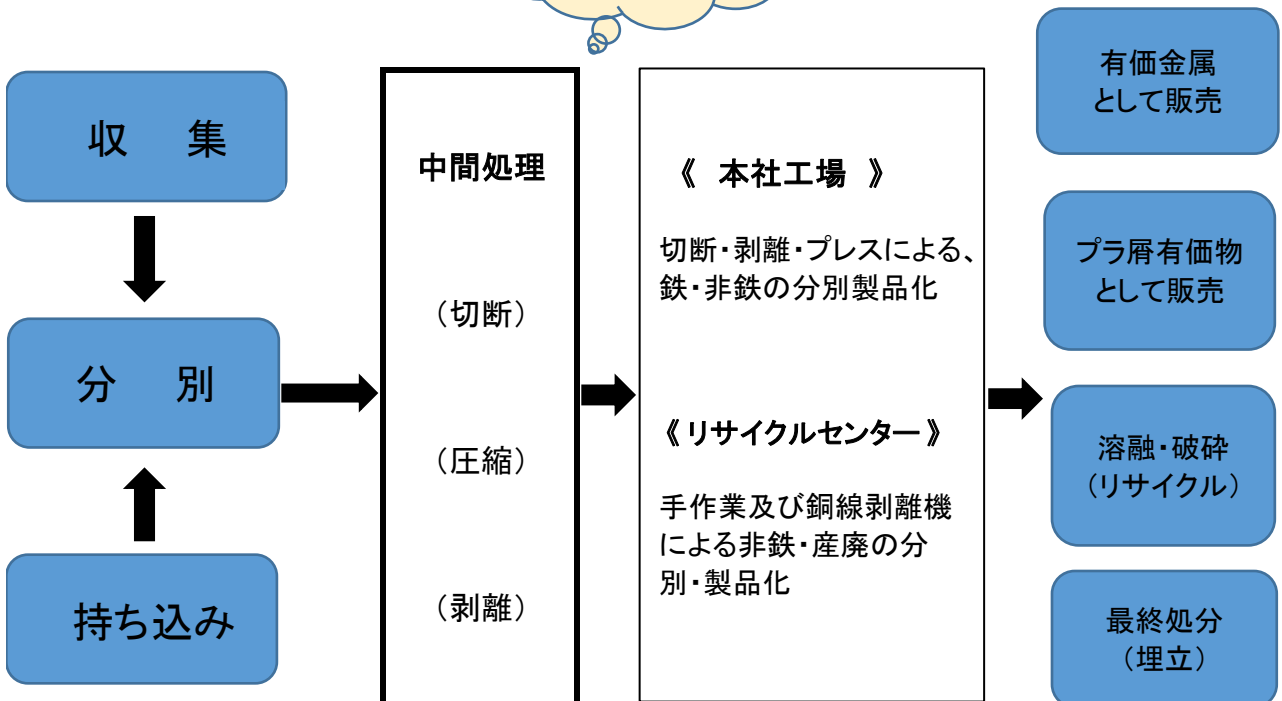
処 理 工 程 図

鉄・非鉄処理加工部門



再生資源の回収・収集等	再生資源の種類		単位	回収・収集等運搬量	
		金属		t	17969.40
再生資源の再資源化等	種類	処理または加工等方法		単位	再資源化量
	金属	切断・圧縮・破碎・剥離		t	23,037.72

産業廃棄物中間処理部門



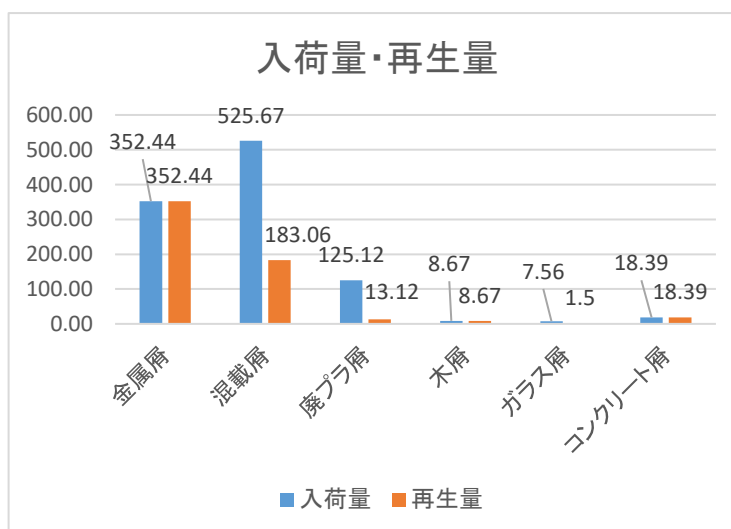
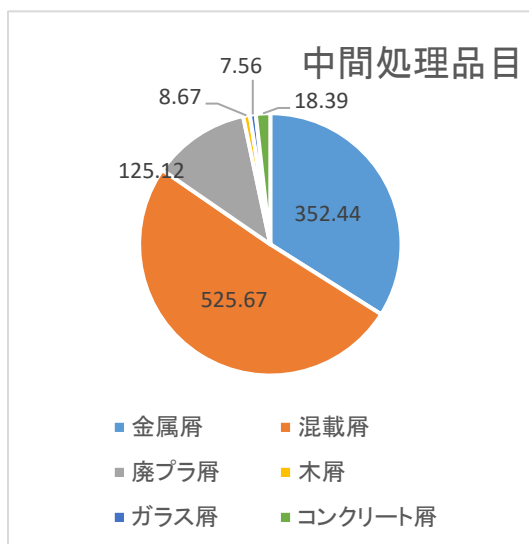
受託した産業廃棄物の実績

2022年（2022年5月～2023年4月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
(i) 収集運搬	石膏ボード		50.48	
	廃油		4.20	
	廃酸・廃アルカリ		1.70	
	金属・廃プラ・木・ガラス・コンクリート屑		688.03	
収集運搬量合計			744.41	
(ii) 中間処理	金属屑	切断・圧縮	352.44	
	廃プラ屑	切断・圧縮・剥離	125.12	
	ガラス屑	切断・圧縮	7.56	
	木屑	切断	8.67	
	コンクリート屑	切断	18.39	
	混載屑	切断・圧縮・剥離	525.67	
	うち 再資源化等	金属屑	再生(売却)	352.44
		廃プラ屑	再生(売却)	18.36
		再資源化等量小計		370.80
	中間処理合計			1037.85

(iv) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃プラ屑	安定型埋立(委託)	136.04
		廃プラ屑	管理型埋立(委託)	18.41
		混載屑	安定型埋立(委託)	286.78
		最終処分量小計		441.23
	再資源化等	木屑	破碎後、再利用	22.73
		コンクリート屑	破碎後、再利用	21.69
		廃プラ屑	溶融後、原材料化	13.12
		ガラス屑	溶融後、原材料化	1.50
		混載屑	再生(売却)	165.70
		再資源化等量小計		224.74
	中間処理後処分量合計			665.97

4月末残 1.08 t



環境経営目標

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	年度別環境目標				
		基準値 (2018年～2020 年の 最大値)	2021年度 (2021年05月 ～ 2022年04月)	2022年度 (2022年05月 ～ 2023年04月)	2023年度 (中期の 到達目標) (2023年05月 ～ 2024年04月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO ₂ /月)	全体	43,880.90	43,880.90	43,880.90	43,880.90	
		削減率⇒		1.0	2.0	3.0
①電気使用量の削減 KWh/出荷量1,000kg 参考使用量 (KWh/ 月)	全体	18.1	17.9	17.7	17.6	
	参考使用量	36,001.50	36,001.50	36,001.50	36,001.50	
②ガソリン使用量の削減 (L /月)	全体	350.4	350.4	350.4	350.4	
③軽油使用量の削減 (L /月)	全体	11,828.40	11,828.40	11,828.40	11,828.40	
2 廃棄物の削減 (kg /月)	削減率⇒		1.0	2.0	3.0	
	事務所	38.3	37.9	37.5	37.2	
② 中間処理後の 再資源化率向上	工場	78.20%	78.2%以上	79.1%以上	60%以上	
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m ³ /月)	全体	46.8	46.8	55.5	46.8	
4. 環境保全の取組推進 (ボランティア活動の実施)	全体	10回/年	10回/年以上	10回/年以上	10回/年以上	

* 企業活動が活発になると、電気・軽油・水の使用量が増加するため、これらの項目は、過去3年間の最高値を目標値としつつ、同じ資源量でさらに経営成果を上げることを目指すこととする。

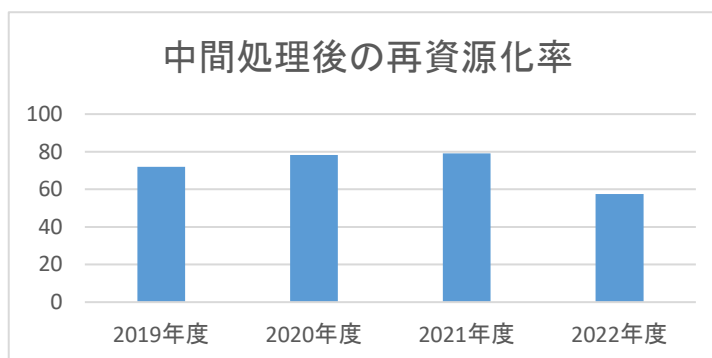
* 電気については、出荷量当たりの電気使用量を算出し、この数値の削減を目指していく。

* 一般廃棄物については、分別と減量の努力を続けるために、毎年1%ずつの削減目標を掲げる。

* 産業廃棄物の再資源化率は、年々向上することを目指すため、前年の数値以上を目標とする。

2022年度 環境活動計画と取組結果の評価

電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 破碎工場の電気使用の平均化 ② エアコン使用時の適正温度設定と扇風機併用 ③ 不要時の消灯の徹底 	<p>電気の使用については平均化できていて、目標も達成できている。細かい節電もしっかりしているので評価する。</p>	
ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① エコドライブの徹底 アイドリングストップ・法定速度の遵守 ② リフト使用の工夫 	<p>エコドライブは徹底されている。遠方へ営業に行った月は目標未達成もあったが、意識は高く持っていると思う。</p>	
軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① エコドライブの徹底(アイドリングストップ) ② 低速ギアの使用制限(回転数を上げない) ③ 運行記録作成(走行距離と給油の確認) ④ 車両の順次入れ替え 	<p>重機・車両ともにしっかりアイドリングストップが心がけられている。使用状況も良好で大変評価できる。</p>	
廃棄物の削減	(一般廃棄物)	<ul style="list-style-type: none"> ① 段ボール・冊子類のリサイクル ② 使用済み封筒の再利用 ③ 休憩室のゴミの分別化の徹底 	<p>段ボールのリサイクルもしっかりできている。ゴミの分別も丁寧にして廃棄量が減っている。</p>
	(中間処理廃棄物)	<ul style="list-style-type: none"> ① 入荷廃棄物の分別・再資源化の促進 ② 廃棄量最少を目標にした中間処理 ③ マニフェストの定期確認 	<p>再資源化率は未達成だが、入荷しているものの状況からすると十分にサイクルできている。</p>



水資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 雨水貯留用ドラム缶を随時増やす ② 洗車時・手洗い時の節水 	<p>雨水の利用もしっかりできていて、節水の意識が高いことを評価する。</p>
環境保全活動の取組推進(ボランティア活動の実施)	<ul style="list-style-type: none"> ① 自転車通勤の推進 ② 消防活動・地域活動に積極参加 ③ 草取りを定期的に行う 	<p>ボランティア参加もでき、草刈りも定期的に行っている。美化の意識も高く大変評価している。</p>

2022年度 環境目標の実績・取組結果とその評価

取組項目	実施区	2022年5月～2023年4月		目標の実績 ○・×評価	取組と評価
		目標	実績		
1.二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	全体	526,570.8	389,004.4	○	今年度は目標が達成できたことを喜ばしく思う。事業活動が盛んになるほどに、電気・軽油・水資源使用量が比例して増加してしまうが、常に最大限の努力をしつつ作業にあたっていきたい。
①電気使用量の削減 (総電気使用量) (kwh)	全体	432,018.0	378,733.0	○	社内で独自に目標としている「出荷1000kgあたりの電気使用量18.1kwh」の目標を上回る結果だった点は良かった。今後も節電意識を持って作業することを心がけてほしい。
出荷量当たりの 使用量指数		212.4	190.5	○	
②ガソリン使用量の削減 (L)	全体	4,204.8	3,590.2	○	ガソリン使用量の削減もできているが、更なるCO ₂ 削減を目指し営業車両をハイブリッド車に入れ替えた。次年度に向けてその成果が数値としても表れることを期待している。
③軽油使用量の削減 (L)	全体	141,940.8	96,610.0	○	今年度は重機の使用方法・ギロチンの使用回数など作業工程の見直しも行き、削減することができている。取扱量を増やしながら、使用量を削減することは常に目標としていきたい。
2.廃棄物の削減					
①一般廃棄物の削減 (Kg)	全体	450.0	274.0	○	徹底したゴミの分別と、コピー裏紙の利用や書類の回覧などの積み重ねの成果が上がっている。時代も電子データ化の方向に進んでいるので、コピー用紙の削減などもさらに進めていきたいと思う。
②中間処理後の再資源化率向上	工場	79.1%以上	57.5%	×	排出事業者による産業廃棄物の分別が進み、弊社による再資源化率は昨年度を上回れなかったが、社会全体として再資源化の意識が高まるのはよいことだと思う。社内でも更なる努力を続けたい。
3.水資源使用量の削減					
(年間水資源総使用量) (m ³)	全体	666.0	747.0	×	漏水箇所の発見並びに工事の完了までに時間がかかってしまい、結果的に水資源使用量の削減が図れなかったのは残念であった。現状では改善が見られ、目標達成できているので、次年度に向けさらに節水意識を持って過ごしていきたい。
4.環境保全の取組推進					
(ボランティア活動の実施)	全体	10	13	○	消防団協力事業所の自覚を持ち、消防活動及び地域でのボランティア活動に積極的に参加できた。台風以外の水害も残念ながら多くなっているので今後も地域に貢献していきたいと考えている。

* 購買電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の調整後排出係数0.347kg-CO₂/kWh(2020年1月環境省公表)を使用

* 灯油・LPGを含む二酸化炭素総排出量は391,552.0kg-CO₂/kWh です



2023年度 環境目標

2023年度目標値

二酸化炭素排出量 43,880.9Kg-CO₂/月
 ガソリン使用量 350.4/月
 一般廃棄物量 37.2Kg/月
 水資源使用量 46.8m³/月

電気使用量 36,001.5kWh/月
 軽油使用量 11,828.4L/月
 産業廃棄物再資源化率 60%以上
 ボランティア活動 10回/年

2023年度 環境活動計画

取組み項目 (目標項目)(単位)	当年度の活動計画		
	活動内容	推進部門 責任者	実施 スケジュール
1. 二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO ₂)	実施スケジュールの年間は、5月～翌年4月とします		
①電機使用量の削減 (総電気使用) (KWh)	①破碎工場の電気使用の平均化 ②エアコン使用時の適正温度設定と扇風機併用 ③こまめな消灯・節電意識をもって行動	渡邊亮介 矢野 亨	年間
②ガソリン使用量の削減 (L)	①エコドライブの徹底 アイドリングストップ・法定速度遵守 ②低燃費な社用車の使用	富田直人	年間
③軽油使用量の削減 (L)	①エコドライブの徹底(アイドリングストップ) ②運搬計画(経路・時間帯)の工夫 ③低速ギアの使用制限(回転数を上げない) ④空気圧のこまめな点検	富田直人	年間
2 廃棄物の削減			
①一般廃棄物の削減 (Kg)	①段ボール・冊子類のリサイクル ②使用済み封筒・コピー裏紙の再利用 ③休憩室のゴミの分別の徹底	白石弥生	年間
②中間処理後の 再資源化率向上	①入荷廃棄物の分別・再資源化の促進 ②廃棄量最少を目標にした中間処理 ③マニフェストの管理の徹底と定期的集計作業	渡邊亮介	年間
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量)	①雨水貯留用ドラム缶を随時増やす ②節水意識を持った行動(水の出っぱなしをしない・蛇口はしっかり閉める)	富田直人	年間
5. 環境保全の取組促進 (ボランティア活動の実施)	①自転車通勤の推進 ②ボランティア活動に積極参加 ③草取りを定期的に行う	渡邊亮介 矢野 亨	年間

環境関連法規等の遵守結果

環境関連法規への違反、訴訟はありません。また、関係当局からの違反等の指摘もありません。
下記関連法規一覧表を元にチェックしました。

当社に適用される法規等、現在まで遵守しており、遵守状況は環境管理責任者が8月・11月・2月・5月の年4回確認し、改訂があった場合は必要に応じてその都度改訂します。

2021年5月確認		評価の結果 ○・×
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	○
2	容器包装リサイクル法	○
3	使用済み自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	—
4	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	○
5	環境基本法	○
6	計量法	○
7	消防法(危政令)	○
8	フロン排出抑制法	○
9	宮崎県環境基本条例・延岡市環境基本条例	○
10	道路交通法	○

代表者による全体評価と見直し結果

2022年度も引き続きコロナウイルスによる経済活動の鈍化、ロシア・ウクライナ情勢による物価上昇やサプライチェーンの乱れにより、思うような経営ができないこともあった。ただ、業績としては、売り上げは減少したものの、良好な状態を保てたことに大変満足している。このような中でもしっかりと利益を確保できたことに自信と誇りをもって、次年度も取り組んでほしい。

環境目標の達成状況を見てみると、2022年度は受託廃棄物の再資源化率がほぼ未達成となっている。これは、排出事業者側の分別が例年以上にしっかりなされていたため、弊社におけるリサイクル率が低下したためだと考えられる。産廃の処理にかかる費用圧縮のため、金属類を自社で分別し、スクラップとして売却し、残りは埋め立てなければならない状態の産廃で持ち込む業者も多かった。循環型社会を担う底辺が広がったことは、喜ばしいことだと考えている。そういった状況の中でも、弊社において57.5%の再資源化を図れたことは、弊社の社員の知識と技術の向上、並びに再資源化を追求する意識の表れだと自負すると同時に、弊社の存在意義が確認できたと思う。

水資源使用量も目標未達成が続いていたが、原因の特定と改善ができたので安心している。今後も全項目で細かく数値の変化を確認しながら、迅速な対応・対策をしていけるように心がけたい。

電気使用量や燃料使用量に関していえば、ほぼ目標達成できているが、今後も環境への影響に配慮しながら、かつ経費も抑えて効率よく社会貢献できる会社でありたいと思う。

今後は、新型コロナも5類に分類され、数年前のような社会活動が行われ始める。それに伴い、金属スクラップや産業廃棄物も比例して発生することが予想される。その状況で、より細やかなCO₂削減の意識が持てるよう、従業員に対しての教育と自身の学びをしっかりと深めていきたいと考えている。

循環型社会の実現と環境保全のため「一人ひとりの意識改革・新たな創造に挑戦します」

